

目次

序章

まえがき 2

起業を夢見た学生時代

アルバイトがなかった正社員時代

12 10

第1章 これまでの日本の労働環境

会社と労働者のパワーバランス

従業員のフラストレーションが溜まると、会社経営にも悪影響

海外では残業なしで高給取りが当たり前？

16

19

21

第2章 求められている労働環境の改善

高給取りよりも働き方が重要視されている時代

28

労働環境の改善は、経営者自身のためでもある

34

労働者不足の時代に突入

36

労働環境の向上で、人間関係も向上する

39

ブラックな働き方は、インターネットを通じて拡散される

45

やりたい仕事をやらせてもらえる環境

48

第3章 上司や経営層へのアプローチ

まずは現状の不満、希望の労働環境は何かを自ら考える

52

労働者も経営者も、相互理解が大切

54

経営者と仲良くなり、改善してほしい点を伝える

57

それでもダメなら転職・独立する

60

第4章 労働環境向上の取り組み方

フレックスタイム制の導入

64

社員ひとりひとりのことをよく理解する

66

当社のリモートワークへの取り組み

69

残業が少なくなれば、業務効率が改善することを念頭に置く

73

間違った労働時間の削減は、かえって非効率になりうる

75

無理を言うクライアントはお断りする	78
有事の際は従業員からの信頼を強くするチャンス	80

第5章 これからの労働環境の変化

会社に求められる労働環境	84
ライフスタイルの多様化により、新しい働き方に注目が集まる	87
フリーランスの落とし穴	89
リモートワークは新しい働き方になりうる？	92
プロテックが目指すところ	98